（公財）明治安田こころの健康財団　研修講座
発達障害・専門講座4（26204）

9/19（土）

ネット依存・ゲーム行動症の基礎と臨床

企画講師

独立行政法人
国立病院機構
久里浜医療センター
主任心理療法士

三原　聡子 先生

日時　2026年9月19日（土）
10時～16時10分

費用　8,500円（税込）

定員　96名

会場　明治安田こころの健康財団 講義室
住所：東京都豊島区高田3-19-10
ＪＲ山手線、西武新宿線、
東京メトロ東西線「高田馬場駅」より
徒歩約7分

申込　財団HPより申し込み受付
期限：９月17日（木）まで

スタンダード講座８

◆ 当財団は「臨床心理士」資格取得者の研修機会として（公財）日本臨床心理士資格認定協会より「短期型研修会（ワークショップ）」の承認を受けております。＜承認期間：2022年7月2日～2027年7月1日　承認番号：20210392＞

◆ 当講座は（公社）日本公認心理師協会より「認定専門公認心理師」の認定にかかるテーマ別研修として承認されております。　＜承認番号：26A-0063、分野共通、5単位＞

◆ 当講座は特別支援教育士〔S.E.N.S〕、特別支援教育士スーパーバイザー〔S.E.N.S-SV〕更新ポイント認定講座第26－085号

ネット依存・ゲーム行動症の基礎と臨床
～明日から活かせるネット依存・ゲーム行動症臨床のエッセンス～

ネット依存・ゲーム行動症関連問題は、医療・教育・福祉・産業・司法など、様々な現場で働く支援者にとって、形をかえて現れてくる問題になっているのではないでしょうか。特に近年では、ゲームのみならず、SNSや動画といった多岐にわたるサービスへの依存や、問題意識の乏しい、支援のエビデンスも乏しい低年齢での依存が問題になっています。「本人が受診／来所したがらない」「ネット／ゲームを取り上げると暴言暴力がある」「親御さんがようやく本人を連れてきてくれたが、口もきいてくれない」など、この問題に本人や親御さんへどう対応したらよいか苦慮されているケースも多いのではないでしょうか。

本講座では、どこからが依存なのか、なぜネットやゲームに依存するのか、どのように心理アセスメントするかといったご本人を理解する上で大切な基本的な知識とともに、受診／来所したがらないご本人にどのように受診／来所を促してゆくかや、拒否的なご本人とどのように関係性を作ってゆくか、早急な解決を求めてくるご家族への対応といった、実際に様々な現場で心理師が日々直面し、困難をかんじやすい場面へどう対応してゆくかを考えます。また、医療機関、相談機関にオファーする際の留意点、効果的な予防教育、ゲーム行動症に特化した認知行動療法（CAP-G）の模擬体験、架空の事例検討などをお伝えします。それらを通して、様々な形でネット依存・ゲーム行動症関連問題に関わる支援者が、ゲームに依存している人の心理や状態像を理解しながら、明日から自信をもって介入できるようになるエッセンスをお伝えしたいと思っています。

プログラム	時間	テーマ
	10:00-11:30	講義 「ネット依存・ゲーム行動症の基礎・支援・予防」
	11:30-12:00	質疑応答
	12:00-13:00	～休憩～
	13:00-14:20	ゲーム行動症に特化した認知行動療法（CAP-G）の模擬体験
	14:30-15:30	架空の事例検討
	15:30-16:10	質疑応答

＜注意事項＞
・時間割・テーマ等が変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

【主催】公益財団法人 明治安田こころの健康財団
【照会先】〒171-0033　東京都豊島区高田3-19-10　E-mail：moushikomi@my-kokoro.jp
TEL：０３－３９８６－７０２１　ＦＡＸ：０３－３５９０－７７０５